オーシャンビュー 南阿波サンライン

風景海道

四国の右下で、
気持ちがいい風景をみつけたよ。
お気に入りのビューポイント、こっそり教えます。

千羽が嶽；現在は千羽海崖

千羽という地名については、色々な説があるが、遺産相続のもつれから、一人の子は千束の藁に包み、もう一人の子は綿に包んで、この絶壁の上から投げたところ、助かるはずの綿で包んだ子は死んで、藁で包んだ子は死ななかった。どこからともなく鬼んで来た、多くの鳥が助けてくれたからだという。このことから千羽が嶽という地名になったとか。
（出典：「日和佐の昔ばなし」）

うみがめマリンクルーズ

日和佐港を出発する約40分のクルージング。
高さ250mの岩壁、千羽海崖の雄大な姿を、
海から眺められるよ。

ミカドアゲハ

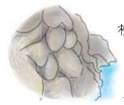
国の天然記念物。
翅を縦に貫く青帯が不連続でまばら。
生息数が極めて少なく、四国では
室戸から足摺の海岸線に生息している。

オガタマノキ

ミカドアゲハの食樹。
オガタマノキを探せば、ミカドアゲハが見つけられるかも。

幻の集落　二見

千二百～三百年前、二見の山麓には８００戸もの集落があったが、正嘉二年八月、大暴雨に見舞われ、洪水と大津波で一瞬にして海に呑まれてしまったそうだ。それで「二見千軒寺屋敷」という言葉が残っている。
またここには萩の木が沢山あるが、白い花の咲く萩の下には巨萬の富が埋められてあるといわれている。
（出典：「日和佐の昔ばなし」）



枕状溶岩

海底で噴出したマグマが
海水によって急冷されて硬く
なり、枕状やチューブを積み
重ねたような形状になったもの。

南阿波サンライン
モビレージ

10月～2月には
海からアオリイカも
釣ることも出来る

有名な釣りポイント
チヌ、グレ、マダイ、ハマチなど

グンカン　セノサキ　イガ　稲船　イガリの地　沖のカモメ　中のカモメ　地のカモメ　ダンゴの平バエ　金長バエ　王瀬　ジンエイノ　マツバの平バエ　マツバの地　通り岩　千羽海崖　西の脇　ウサギ　二見千軒　二見　小イノの高バエ　ミコノウラ(浜)　千石　千石の瀬　明丸のホッケ　大明神　首ヶ地　上明丸の浜　赤バエ　下明丸の浜　ドドエ　シコン　ダケ回り　一番　二番　三番　四番　ジンヤゴ　外ノ牟井の浜　上げ石　牟岐メランジュ　葛谷橋　古牟岐の磯　牧場釣りスポット　大現も上がる　犬ガエリ　クズレ　トンゴロ　ミドリ江　マツダバエ　オオバの浜　小島の浜　ヒラバの浜　タンノウラ　小島谷橋　瀬橋　牟岐少年自然の家　モラスコむざ　松ヶ磯　古牟岐港　亀の子　コビラエの浜　砂美の浜　西山橋　牟岐港

←日和佐城

四国のみち
（千羽海崖を望むみちコース）

第1展望台　第2展望台　第3展望台　第4展望台

千羽トンネル　椿橋　千羽大橋　JR山河内駅

1 3.2km　1 3.4km　2 4.0km　2 4.1km　3 5.2km　3 5.3km　4 5.5km　4 6.0km　5 6.9km　5 6.9km　6 7.1km　7 7.3km　7 7.3km　8 9.8km　9 11.3km　9 11.3km　10 11.6km　10 11.7km

ビューポイント
0 0.0km

駐停車可能位置
0 0.0km

路面に書かれた[55]が目印

55　0km
南阿波サンライン
スタート地点

16.5km
南阿波サンライン
ゴール地点

JR牟岐駅

N

0　50　100　300 (m)

南阿波サンラインから見える島で、最も大きい島が大島わりとゴツゴツしていて、長い

大島

出羽島

小津島

津島

櫂投島

大島の前に、ちょこんと浮かんでいるのが櫂投島

ふたごのように並んでいるのが津島
ちょうど島の真ん中の土地が低いので、
潮が満ちると島が分割されてしまう

津島と出羽島の間に浮かぶ
２つのでっぱりが小津島

穏やかなかたちをしているのが出羽島
牟岐港から連絡船が出てるよ

櫂投島

その昔、領土争いを繰り広げた牟岐と日和佐の漁師が、先に到着したほうが勝ちと、一斉にこの島を目指して船を出した。両者の争いは最後の最後までわからず、最後に牟岐の漁師が船の櫂を投げ込んだことで勝利を収め、牟岐の領地となったとか。

だるま朝日

10月～2月までは
だるま朝日を見られる
ことがあるよ。

初日の出

南阿波サンラインでは、太平洋から昇る
初日の出をみることができるよ。帰りは、
近くの薬王寺（第23番札所）へ初詣に
寄るのがおすすめ。

トライアスロン（バイクコース）

南阿波サンラインは、ひわさうみがめトライ
アスロンのバイクコースになっている!
海を眺めながら、高低差のある
上級者向けコースを楽しんで!!

姉の滝・妹の滝

トンネル南口から下りていくと「姉の滝・妹の滝」がある。これは姉の恋人を妹が横恋慕して、姉を上の滝から突き落し、自分も下の滝に投身したという悲恋の物語りが地名として遺ったものだといわれる。
（出典：「日和佐の昔ばなし」）

天体観測

南阿波サンラインの
展望台は光害が少なく
空気がきれいなので、
天体観測に適してるよ。
きれいな星空を見に来て!!

喰わずの森

山河内字明丸、通称「さぶか」というところにタブと椎の木が生え繁った「喰わずの森」がある。この森に完全ではないが、五輪の墓が30基くらい点在している。いつ頃のことか分からないが、食べ物もろくに喰わずに働いた人が、そこに小判を貯え埋めてあると言い伝えられている。
（出典：「日和佐の昔ばなし」）

桜

３月末から4月10日前後までは、
南阿波サンラインのあちらこちらで桜が
咲き誇ります。桜越しの海への眺めは
とても素敵です。
桜の木の下で海を見ながら、お弁当
なんてどうですか。

基間はサル、タヌキ、ウサギなど、
たくさんの野生動物に会える。
夜7時～10時には、野生のシカに
遭遇する可能性が高い。
時にはニホンカモシカも出没！

四国のみち
（四国自然歩道）

発　　行：南阿波サンライン活性化協議会
徳島大学 工学部 建設工学科
都市デザイン研究室
問合せ先：徳島県南部総合県民局　企画振興部
0884（74）7420
2013年 3月発行

南阿波サンラインとは?

太平洋を望むドライブウェイのこと。

徳島県海部郡美波町から海部郡牟岐町を結ぶ道路で、路線名は徳島県道147号日和佐牟岐線。

美しい海岸線や太平洋（室戸阿南海岸国定公園）などを一望できる、気持ちの良いドライブウェイである。